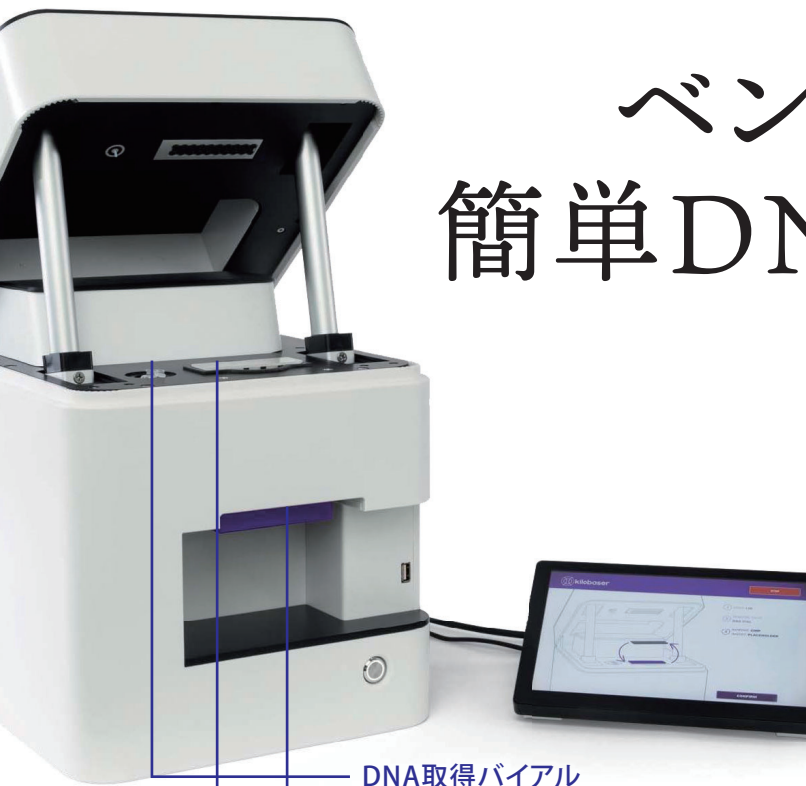


NEW Kilobaser DNA プライミングシステム

ベンチトップでの 簡単DNA合成を実現



POINT

- ①オリゴDNA、PCR用蛍光プローブの合成が可能
- ②1塩基 2.5分の高速合成
- ③初心者の方でも簡単合成

DNA取得バイアル

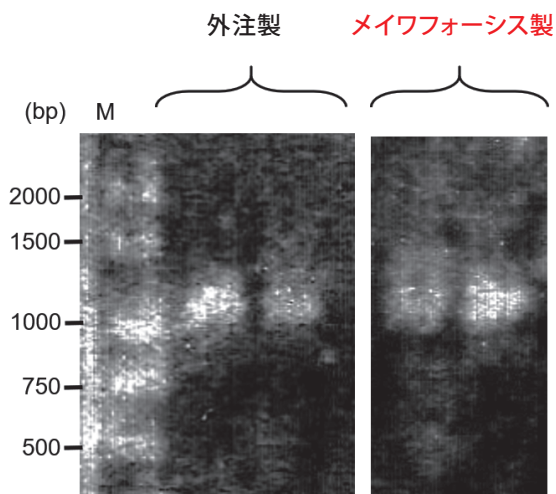
流路チップ……………8つの流体チップで構成されており、試薬の合成効率が向上

カートリッジ……………合成素材、廃液バイアル一体型のカートリッジ。試薬に直接触れずに合成・廃液作業が可能。

専用試薬カートリッジと合成用マイクロ流路チップを使用することで、
ベンチトップでのDNA合成を可能としました。

従来、管理が困難な多数の試薬や廃液の管理が、試薬カートリッジ1つで行えます。
また、メンテナンスフリーで、どなたでもすぐに使用いただけます。

DNAプライマー増幅性能比較



外注依頼の納期を待たず、ご研究を進めていただけます

外注製とKilobaserで合成したDNAプライマーの比較検証をPCRで実施しました。44merのフォワードプライマーと46merのリバースプライマーを用意しました。

細菌のゲノムDNAを鋳型にNEBのQ5 polymeraseを使用し、25 μ Lの反応系で1kbの断片を増幅し、その後、アガロースゲルの電気泳動で増幅度の確認を行いました。

【結果】

外注製とKilobaser製両方に同様のバンドが出ていることが確認できました。

この結果より、Kilobaserでは使用したいタイミングですぐに合成が可能です。

【資料御提供】

京都大学 化学研究所 分子微生物科学領域 川本 純 様